

企画展「新収集公開文書展古沢家文書―近代熊谷の発展を支えた名士―」の成果と課題

大橋 毅 頭

はじめに

埼玉県立文書館（以下、文書館）では、昭和四四年（一九六九）に開館して以来、基幹業務として寄贈・寄託を受けた古文書の整理・公開を行っている。文書館が県立図書館内にあった昭和五七年度までは『近世史料所在調査報告』昭和五八年度に文書館が独立館となって以降は『収蔵文書目録』の名称で古文書目録を刊行している。令和四年度までに古文書目録を第六一集刊行している。

文書館では、令和二年度から四年度まで三か年にわたり古沢家文書の整理を行い、『古沢家文書目録』¹を毎年一冊、合計三冊刊行した。古沢家は、武蔵国大里郡大麻生村（現熊谷市）に居を構えた旧家で、江戸時代には名主をつとめた。明治時代に活躍した古沢花三郎は、大麻生村戸長、郡書記、埼玉県属²、村会議員などの公職をつとめた地域の名士であった。また、古沢家は様々な家業や会社を手掛け、地域産業の発展にも寄与した。

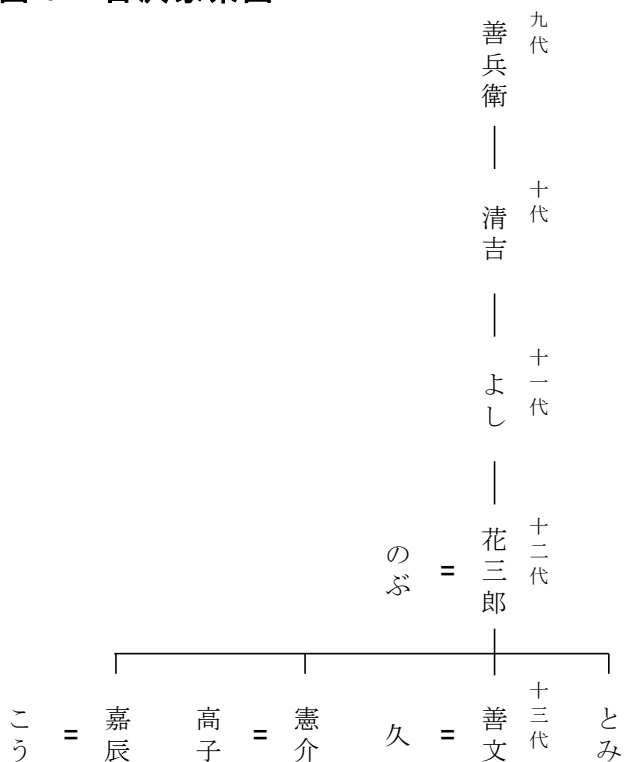
その成果として、令和五年三月八日（火）から五月七日（日）まで企画展「新収集公開文書古沢家文書―近代熊谷の発展に尽くした名士―」を文書館一階展示室で開催した。企画展では、古沢家に残された

古文書約三万点の中から、古沢花三郎の足跡、古沢家の多彩な活動や交流、熊谷地域の暮らしなどが分かる史料を展示して、近代熊谷の名士の実像や彼らが活躍した地域社会の実情に迫った。

古沢家文書は、国文学研究資料館（東京都立川市）と文書館に収蔵されている。昭和二七年（一九五二）に十三代当主善文氏が国文学研究資料館（当時の文部省史料館）に譲渡した文書群である³。『史料館収蔵史料目録』第五六集⁴、第六二集⁵、第七六集⁶と三冊刊行され、一万四八五九点の古文書が整理・公開されている⁷。また、古沢家は文政元年（一一八一）に火災に遭ったため、それ以前の古文書の大方は焼失したといわれているが、江戸時代の名主文書、明治期の戸長文書及び古沢家の私文書が膨大に残されている⁸。

文書館の古沢家文書受け入れについては、昭和五六年（一九八一）に古沢家の転居に伴い、当時の御当主から自宅に残されていた約三万点の古文書が一括して文書館に寄託された。その後、令和二年（二〇二〇）に寄贈となった。本稿では、企画展の展示概要、展示資料の紹介を行い、展示の成果と課題について論じる。

図1 古沢家系図



一 展示構成と内容

(1) はじめに 江戸時代の大麻生村

武蔵国大里郡大麻生村（現熊谷市）は、荒川沿岸に位置し、江戸日本橋まで一七里（約六六・七km）、中山道熊谷宿まで一里一五町余（約五・五km）、中山道深谷宿まで二里（約七・八km）の距離にあった。古沢家は、武蔵七党横山党の末裔で戦国時代には、忍城主成田氏に仕えていたが、天正一八年（一五九〇）の豊臣秀吉による小田原攻めで忍

城が落城した後に、初代与五右衛門が大麻生村に土着したといわれている。古沢家文書から確認できる人物は、九代善兵衛以降からで、十代清吉、十一代よし、十二代花三郎と続く（図1参照）。

「新編武蔵風土記稿」によれば、江戸時代の大麻生村は、家数一〇軒で、東は広瀬村、南は押切村、西は河原明戸村と河原新田村、北は幡羅郡三ヶ尻村と小島村に接していた。用水は村内の大麻生堰より引いていた。正保期（一六四四〜一六四八）は幕府領及び旗本大久保

栗子綱五郎

義利

豊前守忠貞¹⁰の知行所で、その後、幕府領の一部が戸田平左衛門吉政¹¹に与えられ、明和八年（一七七二）には、川越藩主松平大和守朝矩¹²、旗本大久保家、旗本戸田家の所領となり、いわゆる三給地であった。江戸時代の年貢受取状¹³は、寅年の一二月に、役所から大麻生村の古沢善兵衛あてに出されてもので、年貢米と御役懸りの金銭の受け取りが確認できる。

古沢家文書には、江戸時代の文書は多く残っており、また、年代不明の文書も多い。そのような中、大麻生村の支配体制、地理など、基本的な情報を紹介した。

(2) 第一章 熊谷の名士 古沢花三郎の足跡

古沢花三郎は、安政二年（一八五五）三月九日に十一代当主よしと内山善次の子として生まれた。明治二年（一八六九）に大麻生村の名主となり、後に戸長となった。明治九年（一八七六）には甕尻小学校（現熊谷市立三尻小学校）の保護役を務めた後、大里郡大麻生村筆生（戸長後見役）、郡書記、埼玉県属（県職員）、大麻生村の村会議員などを歴任した。公職としての活動以外に

も、県内最初の民権結社である「七名社」の活動への参画（第二期社員）や、砂利採掘や土木業などを請け負った。また、鉾山や砂利などの会社の立ち上げ、用水や道路、鉄道敷設など地域の産業やインフラ整備のために尽力した。

明治三十七年（一九〇四）には、古沢花三郎が埼玉県に慈恵救済費用を寄付しており、埼玉県知事木下周一から褒状が出されている。このように、花三郎は地域の産業やインフラ整備のために尽力し、また、名士として地域を救済する担い手でもあった。古沢家は様々な家業や会社を手掛け、地域産業の発展にも寄与したことを説明した。また、古沢花三郎死亡通知状¹⁴により、大正一三年（一九二四）四月二五日に花三郎が逝去して、第一章を終える叙述とした。

（3）第二章 古沢家の交際

古沢花三郎は村を越えた幅広いネットワークを持っていた。行田出身の政治家湯本義憲が衆議院議員選挙に当選した際には、花三郎あてに当選御礼状が出された。また、実業家の渋沢栄一や稲村貫一郎が幹事を務める埼玉県人懇親会からも案内状が出されている。古沢花三郎は谷文晁や渡辺崋山の書画・掛幅にも造詣が深く、文化的活動も盛んに行っている。経済的活動としては、頼母子講を計画して、定期的に会合を行い、仲間内で金銭を出し合って資金融通をした。頼母子講の会合では割烹店等が使用され、仲間と交流を深めた。その他、県内の名士からの年賀状など、花三郎の幅広い交友関係がうかがえる。また、花三郎と家族との間で交わされた書簡なども多数残されている。

花三郎は村を越えた幅広いネットワークを持っており、県内の名士

との交流、衆議院議員からの当選御礼状、頼母子講による資金調達、書画を通じた文化的活動、花三郎と家族との書状などを紹介した。

（4）第三章 古沢家文書からみる熊谷

古沢家文書の中には、近代の熊谷の様子が分かる資料が多く残されている。熊谷に所在した呉服屋など商店の引札、病院の開院案内、熊谷の材木屋大和屋の領収証、上武鉄道の時刻表及び乗車証など、日常生活と密接に関係する資料が残されている。

また、古沢家の関係者が在学した学校資料から、埼玉県立熊谷中学校（現埼玉県立熊谷高等学校）の大運動会競技番組、校友会の会報、埼玉県立熊谷高等学校（現埼玉県立熊谷女子高等学校）の学友会「さくら会」が発行した会誌を取り上げ、明治・大正期の学校の活動内容を紹介した。戦後報道写真より熊谷高等学校の野球部と熊谷女子高等学校の体育祭をパネルで展示した。

文化・芸術においては、豪快な画風で南面を描いた奥原晴湖（一八三七～一九一三）の遺墨展覧大会の案内状など、熊谷にゆかりのある人物に関係する資料も紹介した。

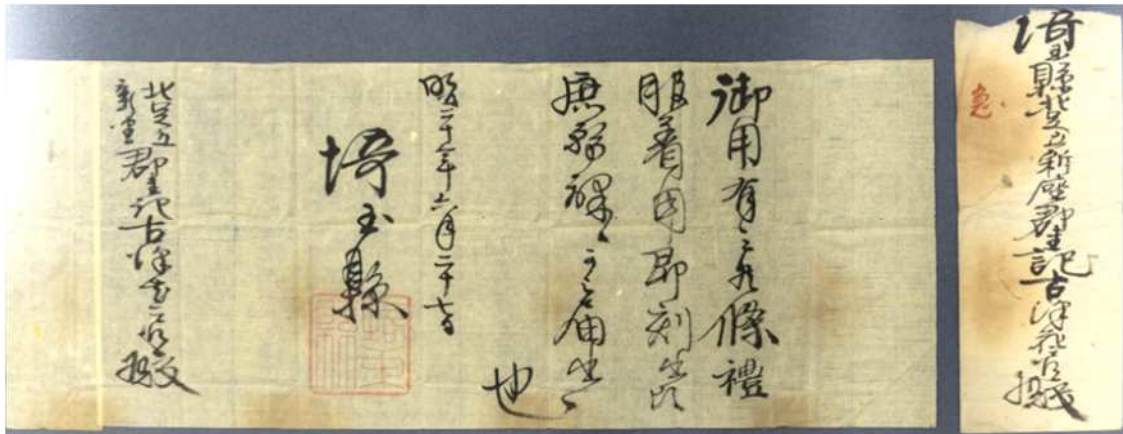
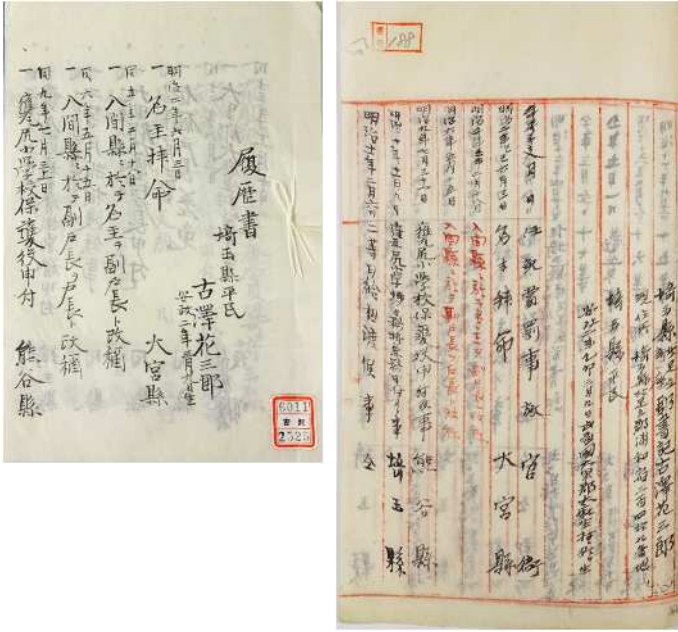
（5）おわりに

文書館の基幹業務として古文書の受入れ・整理・公開を行っていること。国文学研究資料館にも古沢家文書が収蔵されていることを紹介して、二つの機関で閲覧ができることを案内した。

二 展示資料について

(1) 履歴書¹⁵

古沢花三郎が、埼玉県北足立・新座郡郡書記在職時に埼玉県に提出した履歴書である。明治二年（一八六九）から明治一八年（一八八五）までの経歴が書かれている。花三郎は、明治一八年八月二二日に埼玉県北足立・新座郡の郡書記に任命された。この履歴書には、郡役所の罫紙が使用されている。原本は、国重要文化財「埼玉県行政文書」¹⁶のため、写真パネルの展示とした。また、古文書の履歴書は原本を展示して、二つの史料を見ることができるようにした。



(2) 書状（県庁へ出頭）¹⁷

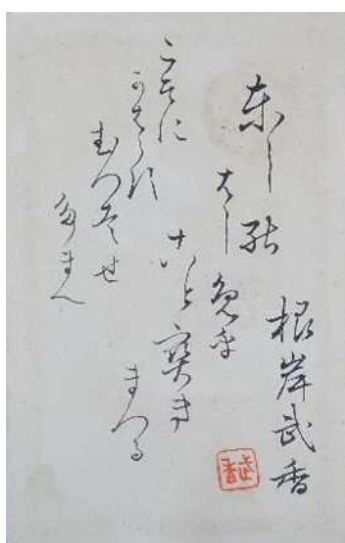
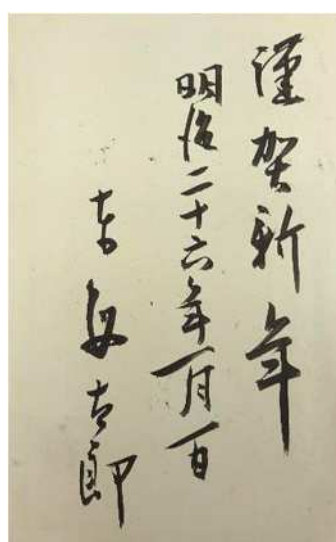
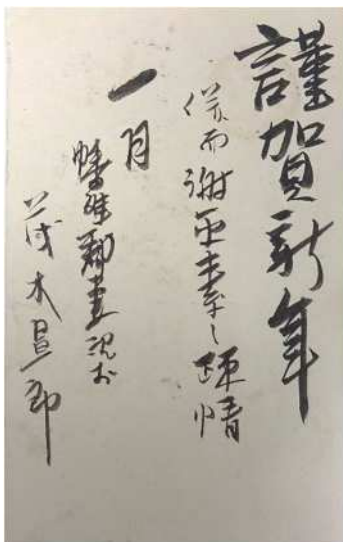
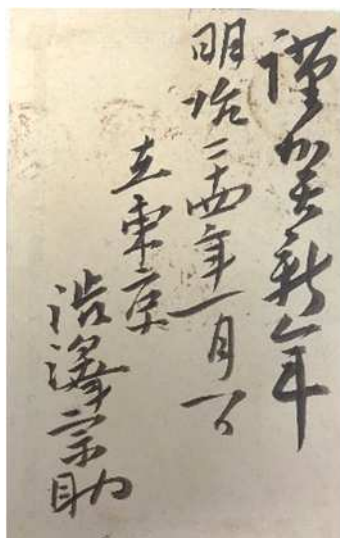
明治二〇年（一八八七）六月二十七日、埼玉県が北足立・新座郡郡書記の古沢花三郎へあてた書状である。御用があるため、礼服を着用して直ちに外向き、庶務課へ届出をするように書かれている。翌二八日に古沢花三郎は埼玉県属に任じられているので、その呼び出しであったとみられる。埼玉県印が捺されている。また、当時埼玉県が使用した黄色の和紙が特徴である。

御用有之候條禮
 服着用即刻出頭
 庶務課へ可被届出候
 也
 明治二十年六月二十七日
 埼玉縣印
 北足立郡書記古沢花三郎殿
 新座

(3) 年賀状¹⁸

古沢家文書には年賀状が約一八〇〇点含まれている。一例を挙げると、渋沢栄一の親戚である渋沢宗助、初代埼玉県会議長の竹井澹如、熊谷の有力者である根岸武香(甲山村)、東每太郎(肥塚村)、茂木昌一郎(妻沼村)などから届いた年賀状が残されている。また、根岸家¹⁹、東家²⁰、茂木家²¹は文書館に寄贈・寄託されている文書群である。そこで、根岸家文書、茂木家文書、東家文書の中に古沢花三郎が出した年賀状が含まれているか確認をした。しかし、花三郎からの年

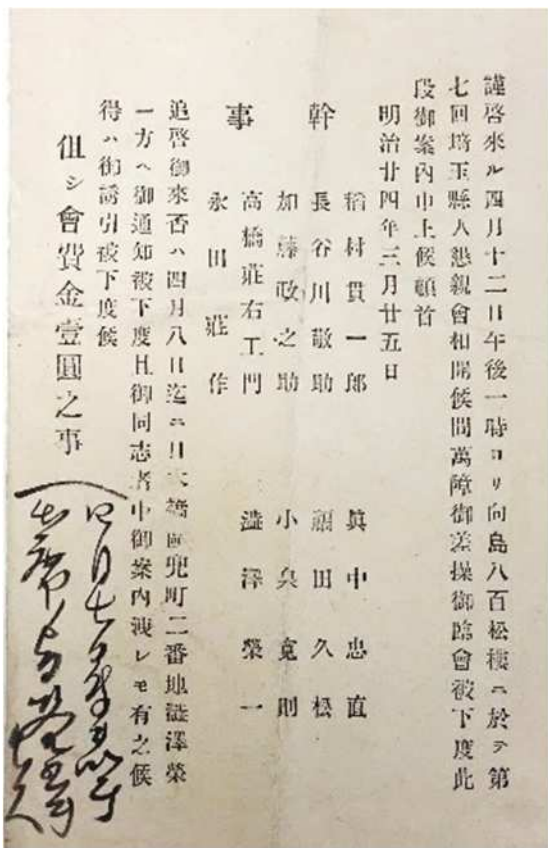
賀状は含まれていなかった。そのため、①花三郎が出した年賀状があったが、古文書を預かった時点で残されていなかった。②そもそも花三郎は年賀状を出していなかった。という可能性が考えられる。三つの文書群から花三郎が出した年賀状が含まれていないので、花三郎は年賀状を出していなかったと推測する。文書館は、県内の古文書を収蔵しているため、複数の文書群から横断的に調べることができるとも強みである。



(4) 埼玉県人懇親会案内状²²

明治三四年（一八九一）三月二五日付けの葉書（案内状）である。内容は、四月一二日午後一時より向島八百松樓²³（料亭）において、第七回埼玉県人懇親会が開かれる旨が書かれている。幹事は稲村貫一郎²⁴、長谷川敬助²⁵、加藤政之助²⁶、小泉寛則²⁷など九名で、渋沢栄一も幹事の一人として名を連ねている。なお、出欠は四月八日まで日本橋区兜町（東京都中央区）の渋沢栄一方へ通知し、同志がいれば誘うようにしている。会費は金一円となっている。

往復葉書で発送されており、文書は往信部分のみ残り、返信部分は残っていない。なお、葉書の余白に「四月七日付ヲ以テ出席旨答書ヲ出ス」と書き込みがあるため、花三郎が出席連絡を返信したことが分かる。懇親会にも参加したものと思われる。



(5) 広告²⁸

熊谷に所在する明治三〇年（一八九七）創業の八木橋呉服店（現八木橋百貨店）の広告である。一二月一六日・一六日の二日間、午前六時より午後六時まで呉服・太物類を大割引して、冬衣の大売り出しを開催する旨の案内をしている。なお、当日購入した品物を取り替える場合は、割引正札を必ず貼り付けたまま持参するように書かれている。なお、広告は二つ折りになっており、外側に「冬衣大賣出し」の見出しと熊谷駅の汽車発車時間表、内側に「大割引案内」が書かれている。時間表など、便利な情報を載せることで手元においてもらえるように工夫がなされている。



おわりに

本企画展は、三か年にわたり古文書の整理・公開を行ってきた成果展示であり、展示概要と資料紹介を行った。

展示の成果は、これまで取り上げてこなかった熊谷の名士、古沢花三郎の足跡を紹介できたことである。花三郎の履歴（公職就任）や家業や会社立ち上げなど複数の事業を手掛けており、地域の産業を支えた姿を示すことができた。

花三郎の交際については、年賀状や書状から交際の一部を明らかにすることができた。担当者としては年賀状を効果的に展示できたことに手ごたえを感じている。年賀状は、サイズも小さいため一点展示しても、印象に残らないこともある。しかし、根岸武香や渋沢宗助など複数の年賀状をまとめて展示をしたことにより、観覧者には地域の有力者と日頃から交際をしている史料として興味を持って頂けた。

また、熊谷に馴染みがある学校、商店、鉄道、奥原晴湖などの史料を展示できた。観覧者が知っている学校や商店などが書いてある資料について話をされている姿が印象的であった。また、鉄道に関する資料はどの観覧者も熱心に御覧になっていた。展示資料については、文書館收藏の古文書、地図、パネル（行政文書、戦後報道写真）など幅広く展示できた。

課題は、古沢花三郎の名士（名望家）としての活動を深く掘り下げることができなかったことである。古沢家を取り上げた研究成果としては、国文学研究資料館^{2,9)}、丑木幸男^{3,0)}、渡辺尚志^{3,1)}、松沢裕作^{3,2)}などがあるが、学術的な内容とリンクができなかった。

内容については、民権結社「七名社」や交流している人物について

も部分的な取り上げに留まった。三万点を超える古沢家文書の中から展示に出した資料は約七〇点であったため、展示ケースや全体の資料のバランスを考えると、止むを得ない部分もあった。

文書館は、展示を通して、資料の閲覧に導くという役割もある。そのため、古沢家について「知りたい」、「調べてみたい」、「古沢家文書を閲覧したい」という気持ちになってもらえると、閲覧のための導入展示としては成功である。古沢家文書は、花三郎の活動や資料の残り方などテーマとなる内容は多く含んでいる。熊谷地域や埼玉県、七名社、近世・近代移行期の名望家、戸長役場など今後の研究の進展が期待できる文書群である。

最後に、資料を御寄贈頂いた古沢家の所有者様に心より感謝申し上げます。



企画展チラシ

註

- 1 『古沢家文書目録（1）』（埼玉県立文書館、二〇二一年）、『古沢家文書目録（2）』（埼玉県立文書館、二〇二二年）、『古沢家文書目録（3）』（埼玉県立文書館、二〇二三年）。
- 2 県の事務を取り扱う旧制の吏員。
- 3 丑木幸男『古沢家文書目録』（その一）の編集を終えて」（『史料館報』第五六号、一九九二年）。
- 4 『武蔵国大里郡大麻生村古沢家文書目録（その一）』（史料館、一九九二年）。
- 5 『武蔵国大里郡大麻生村古沢家文書目録（その二）』（史料館、一九九六年）。
- 6 『武蔵国大里郡大麻生村古沢家文書目録（その三）』（史料館、二〇〇三年）。
- 7 丑木幸男「古沢家文書目録」を編成して」（『史料館報』第七九号、二〇〇三年）。
- 8 『武蔵国大里郡大麻生村古沢家文書目録（その一）』（前掲注4）。
- 9 「新編武蔵風土記稿 大里郡」（古沢家文書二〇）。
- 10 『新訂寛政重修諸家譜』第二二（統群書類従完成会、一九六五年）九頁。
- 11 『新訂寛政重修諸家譜』第一四（統群書類従完成会、一九六五年）三六二頁。
- 12 『川越市史』第三卷近世編（川越市、一九八三年）。
- 13 「覚（御年貢米・御役懸り受取申候ニ付）」（古沢家文書一六七四四）。
- 14 「古沢花三郎死亡通知状」（古沢家文書一九九四）。
- 15 「履歴書」（埼玉県行政文書明三七一〇—一八八）、「履歴書」（古沢家文書二五二五）。
- 16 埼玉県及びその前身の県・藩等行政機関において、作成、收受、保管された近代地方行政文書群。平成二十一年（二〇〇九）七月一〇日に重要文化財「埼玉県行政文書」に指定された。一万二二五九点。
- 17 「御用有之候条礼服用即刻出頭庶務課へ可被届出候ニ付書状」（古沢家文書二〇一四一）。
- 18 「年賀状」（洪沢宗助）（古沢家文書九三三四）、「年賀状」（竹井澹如）（古沢家文書一一八九三）、「年賀状」（東每太郎）（古沢家文書一一五七〇）、「年賀状」（茂木昌一郎）（古沢家文書一一六八六）、「年賀状」（根岸武香）（古沢家文書九三三六）。
- 19 『武蔵国大里郡甲山村根岸家文書目録』（埼玉県立図書館、一九六七年）。
- 20 『諸家文書目録Ⅱ』（埼玉県立図書館、一九八〇年）。
- 21 『諸家文書目録Ⅷ』（埼玉県立図書館、二〇一五年）。
- 22 「第七回埼玉県人懇親会開会案内状」（古沢家文書五〇五四）。
- 23 『東京風景』（小川一眞出版部、一九一一年）によれば、向島（東京都墨田区）の旗亭（料亭）と説明されている。枕橋のたもとにあり、隅田川を臨んでいる。
- 24 七名社の創立者の一人。県会議員。明治一七年（一八八四）四月二四日に県会副議長に就任する。熊谷銀行初代頭取などを歴任する。
- 25 七名社の創立者の一人。県会議員。明治一四年（一八八一）二月七日に県会議長に就任する。
- 26 県会議員。明治一五年（一八八二）三月三〇日に県会副議長、同年五月九日に県会議長に就任する。衆議院議員、貴族院議員を歴任した。
- 27 七名社の創立者の一人。児玉・賀美・榛沢郡長、秩父郡長を歴任した。
- 28 「冬衣大売出し」（古沢家文書一八三七八）。
- 29 国文学研究資料館編『史料叢書第四卷 戸長役場の史料』（名著出版、二〇〇〇年）。
- 30 丑木幸男『戸長役場史料の研究』（名著出版、二〇〇五年）。
- 31 渡辺尚志編著『近代移行期の名望家と地域・国家』（名著出版、二〇〇六年）、「同『幕末維新期の名望家と地域社会』（同成社、二〇一四年）。
- 32 松沢裕作『日本近代村落の起源』（岩波書店、二〇二二年）。

展示風景写真



企画展示入口バナー



入口から見た展示室



はじめに 第一章（時計回り）



第二章 第三章



第二章 第三章



展示資料写真（はじめに）



展示資料写真（第一章）



展示資料写真（第二章）



展示資料写真（第三章）

企画展「新収集公開文書 古沢家文書—近代熊谷の発展に尽くした名士—」 展示資料一覧

No.	文書名	年号	文書番号	形態
はじめに 江戸時代の大塚生村				
1	寛(大塚生村村高人別書上)	安政6年8月	古沢家1307	状
2	寛(御年貢米・御役懸り受取申候ニ付)	[近世]寛12月	古沢家16744	状
3	新編武蔵風土記稿 大里郡	[明治17年]	古沢家210	壺帳
4	埼玉県武蔵国幡羅郡三ヶ尻村	明治17年	迅原615	地図

I 熊谷の名士 古沢花三郎の足跡

5	履歴書(古沢花三郎)	明治32年	古沢家2525	一紙
6	履歴書(古沢花三郎)	明治18年8月	埼玉県行政文書 明3710-188	パネル
7	地券	明治13年3月11日	古沢家2938	一紙
8	論功行賞書綴	明治時代	埼玉県行政文書 明1980-17	パネル
9	[大里郡大塚生村本月15日現在高ニ付報告書]	明治8年3月17日	古沢家20141	一紙
10	[御用有之候柔礼服用用即刻出頭庶務課へ可被届出候ニ付書状]	明治20年6月27日	古沢家17332	一紙
11	雅俗文章	[明治8年]乙亥2月	古沢家663	壺帳
12	[七名社弁論会御出席願ニ付書状]	[明治9年]7月15日	古沢家2551	切紙
13	[書状]	[明治10年]10月26日	古沢家2503	切紙
14	御届(御布達有之別紙社員名簿并会日表差上ニ付)	明治11年9月18日	古沢家2510	一紙
15	[用悪水路二番刈払可致旨郡役所ヨリ御達相成候ニ付書状]	明治12年7月27日	古沢家1221	一紙
16	旧古沢邸近景	[近代]	熊谷市立熊谷図書館蔵	パネル
17	旧古沢邸模型	[近代]	熊谷市立熊谷図書館蔵	パネル
18	鉱山任セ証書	明治21年7月7日	古沢家2730	一紙
19	馬車鉄道敷設願	明治22年6月29日	古沢家2624	綴
20	砂利一手採掘許可受書	明治29年1月15日	古沢家20452	一紙
21	[荒川水力電気事業出願相済候ニ付発企人会御出席依頼状]	明治29年8月9日	古沢家13190-1	一紙
22	資格証明願	明治34年5月13日	古沢家15974	一紙
23	[慈恵救済資トシテ金81銭寄附ニ付書状]	明治37年9月30日	古沢家20678	一紙
24	葡萄輸送ノ記	[明治]38年6月17日	古沢家2342	横半
25	議員当選告知書	明治40年4月9日	古沢家26426	パネル
26	[古沢花三郎死亡通知状]	大正13年5月26日	古沢家11994	葉書

II 古沢家の交際

27	[年賀状](根岸武香)	明治23年1月6日	古沢家9386	葉書
28	[年賀状](渋谷宗助)	明治23年1月1日	古沢家9374	葉書
29	[年賀状](茂木昌一郎)	[明治26年]1月	古沢家11686	葉書
30	[年賀状](東毎太郎)	明治26年1月1日	古沢家11570	葉書
31	[年賀状](竹井澹如)	[明治23年]1月	古沢家11893	葉書
32	[第7回埼玉県人懇親会開会案内状]	明治24年3月25日	古沢家5054	葉書
33	[衆議院議員当選礼状]	明治25年2月24日	古沢家4994	葉書
34	[衆議院議員撰挙セラレタルニ依り祝詞御礼状]	[明治33年]7月9日	古沢家8612	葉書
35	[案内状]	大正4年10月	古沢家1841	一紙
36	古代錦絵江戸絵又給紙買入概価表	大正5年7月	古沢家357	冊
37	訪瑛録(写)	[近代]	古沢家717	壺帳

38	[書状]	[近代]	古沢家13421	切紙
39	古沢花三郎頼母子講簿	明治38年12月7日	古沢家2313-1	整帳
40	記(御賄料金受取二付)	明治40年1月	古沢家2313-3	一紙
41	[大里郡役所雇員辞令]	明治41年5月25日	古沢家13705-1	一紙
42	[第二課勤務辞令]	明治41年5月25日	古沢家13705-2	一紙
43	[書状]	[大正8年]12月6日	古沢家6799	切紙
44	曉村君追悼歌句集(故古澤憲介追悼)	大正10年10月	古沢家16549	整帳
45	古澤憲介写真(曉村)	大正10年10月	古沢家16549	パネル
46	故曉村句集(抜粋)	大正10年10月	古沢家16549	パネル
47	古沢家系図			パネル
48	[書状]	大正12年9月16日	古沢家15862	一紙
49	[暑中見舞状]	[昭和2年8月4日]	古沢家9172	葉書
50	名刺(古沢花三郎)	[近代]	古沢家5959、20612-2	名刺
51	電信略語	明治18年8月	古沢家20170	一紙
52	[電報]	[明治26年]5月19日	古沢家20713-1	電報

Ⅲ 古沢家文書からみる熊谷

53	熊谷町規	大正14年8月	古沢家867	冊
54	会報	明治36年12月30日	古沢家352、353、606、2803	冊
55	埼玉県立熊谷中学校開校記念 大運動会競技番組原簿	明治35年10月6日	古沢家16593	一紙
56	くれ竹	大正3年7月20日	古沢家742、743、744、745、15615	冊
57	県下高校野球展望 熊谷高校	昭和34年4月19日	戦後報道写真S340419-29	パネル
58	熊谷女子高の体育祭	昭和34年6月12日	戦後報道写真S340612-5	パネル
59	梅盛座開場一周年祝演劇御披露(興行広告)、開演入場券	明治32年9月	古沢家12641-2~3	一紙
60	[故奥原晴湖先生遺墨展覧大会案内状]	大正8年12月吉祥	古沢家9959	一紙
61	[足袋商新井屋岩三引き札]	[近代]	古沢家14947	一紙
62	記(槽代金受取二付)	明治26年10月8日	古沢家7386-3	切紙
63	広告郵便	[近代]	古沢家6139	切紙
64	冬衣大売出し	[近代]	古沢家18378	一紙
65	記(5銭御頭160代金8円受取候二付)	大正13年5月31日	古沢家13139-3	一紙
66	開院広告(熊谷病院)	明治14年7月	古沢家17431-3	一紙
67	[家庭用石鹸他広告]	[明治時代]	古沢家4935	葉書
68	[熊谷電気館内部絵葉書]	[昭和]	古沢家9804	葉書
69	鉄道汽車発着時刻並賃金表	明治21年8月20日	古沢家20392	一紙
70	上武鉄道株式会社常乗車証	明治36年1月1日	古沢家19400	切紙
71	上武鉄道株式会社貨物到着通知書	明治39年6月16日	古沢家18736	一紙
72	上武鉄道線路図	[大正]	古沢家2423	一紙
73	上武鉄道汽車時刻表	大正3年12月1日	古沢家20250	一紙

おわりに 江戸時代の大森生村

企画展「新収集公開文書 古沢家文書—近代熊谷の発展に尽くした名士—」

(会期：令和5年3月7日(火)から5月7日(日))の資料一覧です。

展示資料の一部は、資料タイトルを変更しています。